

令和5年度 羽島市総合教育会議

学びの多様化を支援するシステムの構築

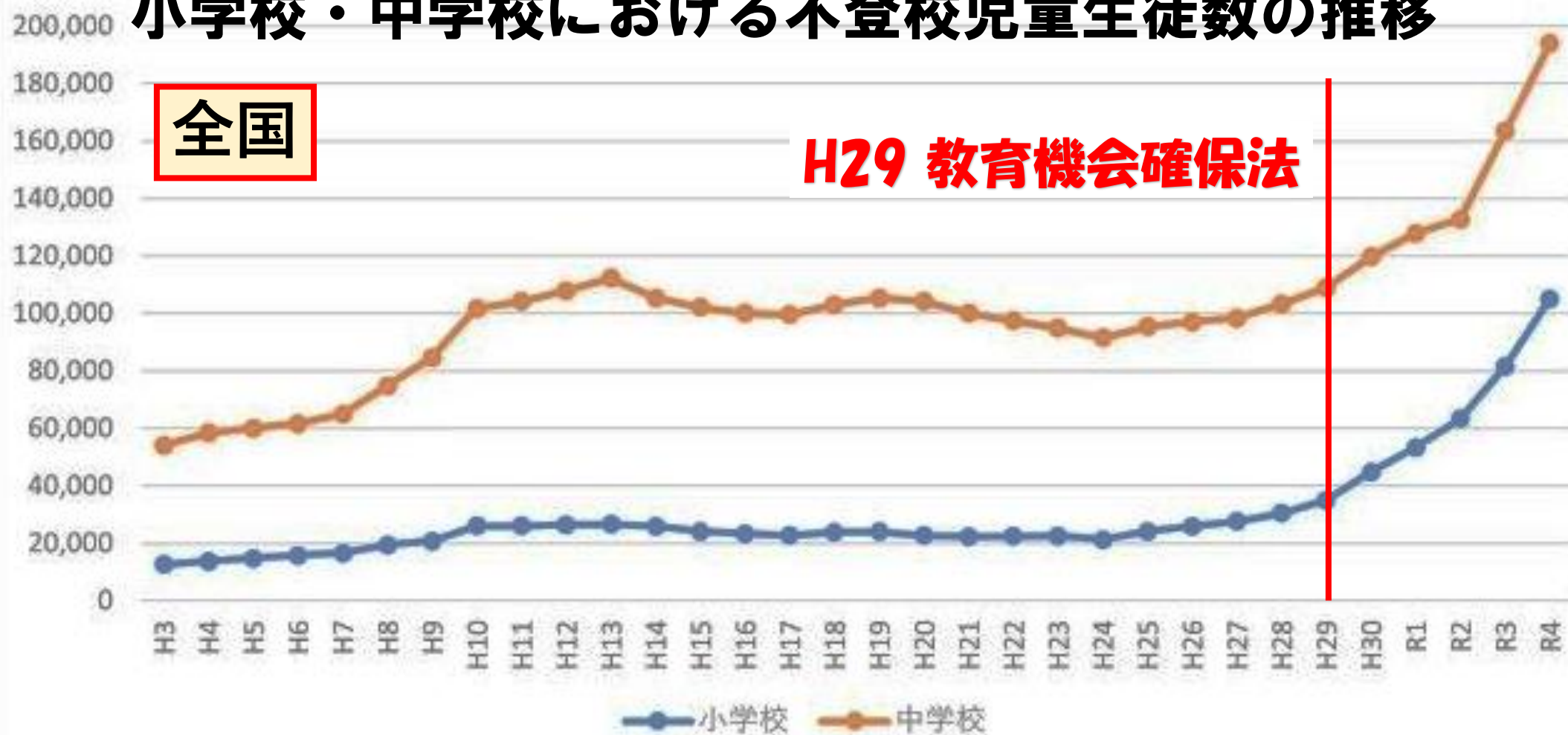
～誰もが安心して学べる学校・居場所づくり～

令和5年12月26日

- 1 不登校の状況
- 2 不登校児童生徒の実態
- 3 羽島市の取組み
- 4 他自治体の不登校児童生徒への取組みについて
- 5 今後の方向性について

1 不登校の状況

小学校・中学校における不登校児童生徒数の推移



令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

1 不登校の状況

不登校児童生徒数の推移

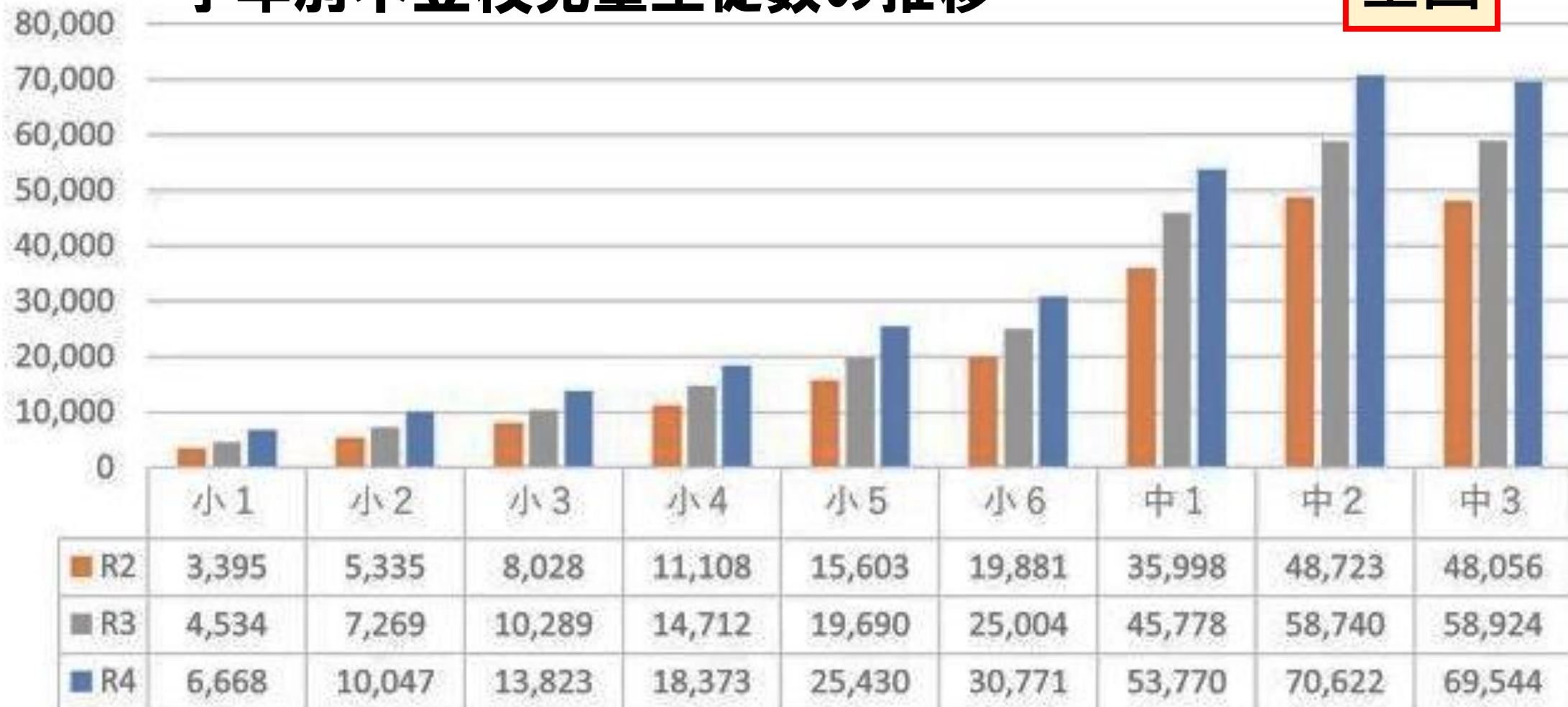
羽島市

	H30	R1	R2	R3	R4
不登校児童生徒数	98	94	106	117	159
小学校	31	27	37	40	41
中学校	67	67	69	77	118

1 不登校の状況

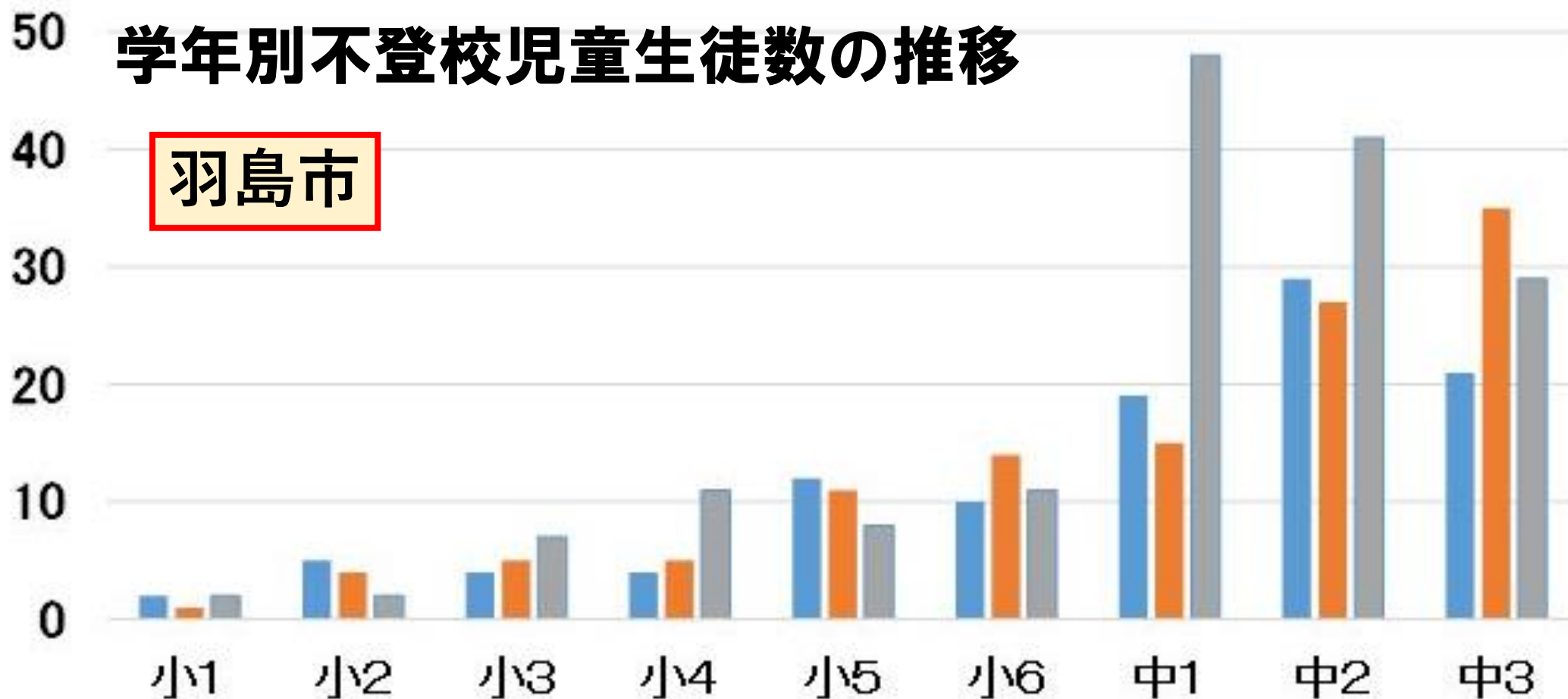
学年別不登校児童生徒数の推移

全国



令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

1 不登校の状況

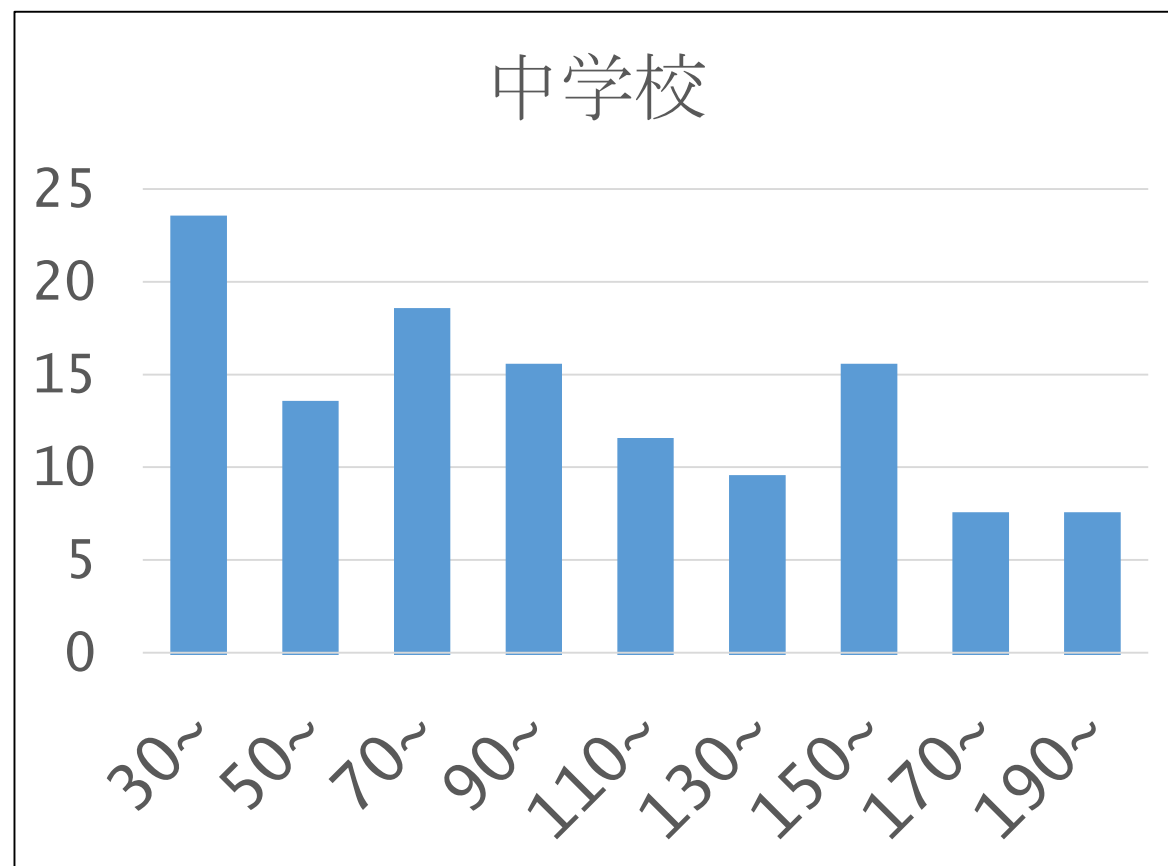
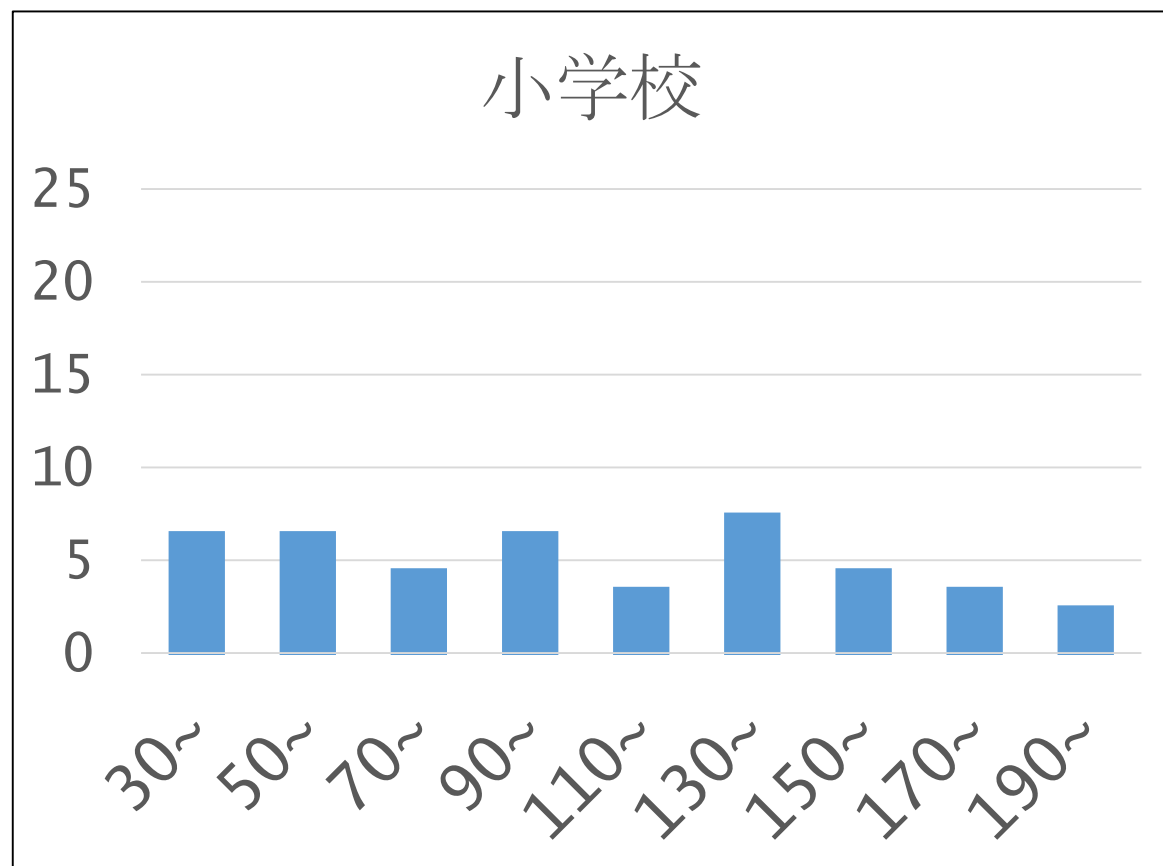


R2	2	5	4	4	12	10	19	29	21
R3	1	4	5	5	11	14	15	27	35
R4	2	2	7	11	8	11	48	41	29

1 不登校の状況

不登校児童生徒欠席日数別の人数

羽島市



2 不登校児童生徒の実態

学年別不登校児童生徒数の推移

羽島市

令和4年度 要因

小学校

不安や無気力 55%

家庭の状況 35%

中学校

不安や無気力 53%

家庭の状況 11%

2 不登校児童生徒の実態

最初に行きづらいつと感じたきっかけ **全国**

< 小学校 >

①先生のこと	30%
②身体の不調	27%
③生活リズムの乱れ	26%

< 中学校 >

①身体の不調	33%
②勉強がわからない	28%
③先生のこと	28%

不登校児童生徒の実態把握に関する調査(令和3年10月文部科学省)

3 羽島市の取組み

不登校に対する羽島市教育委員会の方針

不登校を問題行動ととらえない

① 休養の必要性

「登校しなければならない」からの解放

② 学校復帰を求めない

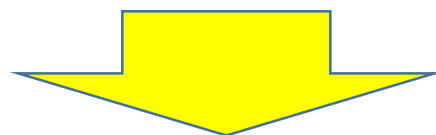
個々の状況に応じた支援体制

③ 将来的な社会的自立を目指す

学びを止めない 多様な学習の場の提供

取組みⅠ

不登校児童生徒
への支援



取組みⅡ

新たな不登校を
生み出さない

3 羽島市の取組み

取組み I 不登校児童生徒への支援

心に寄り添う支援（早期発見・早期対応について）

心のアンケート

悩みや心の健康状態を早期発見するために、定期的にアンケートを行う。

教育相談

学級担任・教育相談担当・養護教諭等が、心に寄り添った相談を行う。

カウンセリング

専門的な知識をもったスクールカウンセラー等がカウンセリングを行う。

家庭訪問

学級担任やスクールソーシャルワーカー等が家庭を訪問し、支援を行う。

学習支援

授業配信

オンラインシステムを活用した授業配信

授業支援アプリ

双方向でやりとりできる学習支援

居場所づくり

保健室

相談室

適応指導教室

フリースクール等の学校外の支援機関

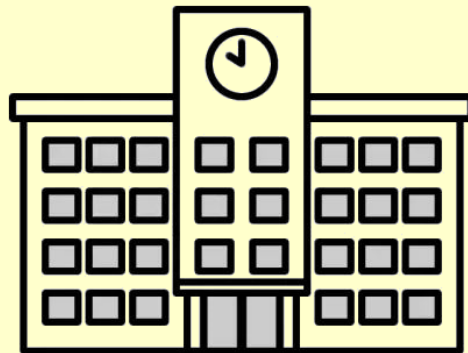
3 羽島市の取組み

だれかと どこかで つながりをつながり0（ゼロ）を0（ゼロ）にする！

市子育て
児相



学 校



家 庭



適応指導
教室



オンラインでの
相談活動・学習支援
メタバースの活用

民間フリースクール

個別対応・少人数対応
ソーシャルスキルトレーニング

個別のアセスメント・支援計画
相談室対応・保健室対応
いじめ・不登校対策専門員
スクール相談員
スクールカウンセラー

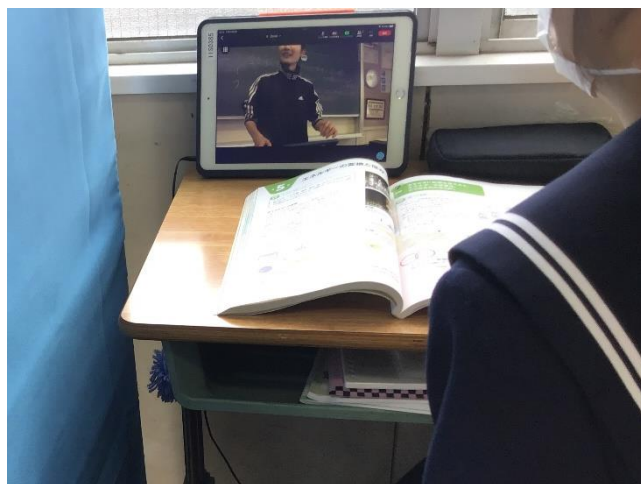


個別対応
学習支援

3 羽島市の取組み

校内の居場所づくり 「相談室（保健室）」

教室とオンラインでつないで授業を受ける
個別で自主学習を行う
ゲームやソーシャルスキルトレーニングを行う
相談や日常的な会話を行う



オンライン授業

ほほえみ教室 時間割

	月	火	水	木	金
1	国 水野	英 亀山	音 吉川	体 渡邊	英 佐野
2	体 吉井	数 近藤	理 金森	国 真鍋	音 吉川
3	音 吉川	体 伊藤	英 米口	国 水野	体 柴山
4	英 坂	理 金森	体 吉井	国 横山	数 武山
5	英 米口	国 田中	数 吉川	1年:道徳 2年:道徳 3年:道徳	3年:総合

時間割



個別学習

3 羽島市の取組み

学校外の居場所づくり 「適応指導教室（こだま）」



創作活動の様子

- ・ 学校外に設置
- ・ 社会的自立や学校復帰に向けた支援

令和5年度：26名



実験の様子

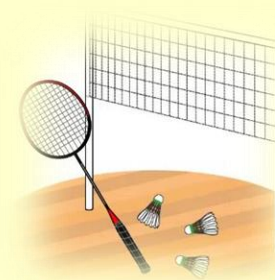
3 羽島市の取組み

学校外の居場所づくり「校内適応指導教室（のぞみ）」

校内適応指導教室「のぞみ」の開設 R5.6～

○居場所づくりにおける選択肢を増やす

フィールドが増えることで、支援できる児童生徒が増える。



○学校施設を利用した支援が可能

体育館や理科室、調理室など学校の特別教室を利用することができ、授業と同じ学習支援を行うことができる。

○学校の日課に合わせた活動が可能

学校の日課に合わせて活動したり、学校行事に参加したりすることができる。

令和5年度：16名





不登校児童生徒への支援
校内適応指導教室 のぞみ

適応指導教室 のぞみ

3 羽島市の取組み

仮想空間（メタバース）適応指導教室（Room-HIKARI）の新設

○家庭から出られない児童生徒に学習や交流の場を提供

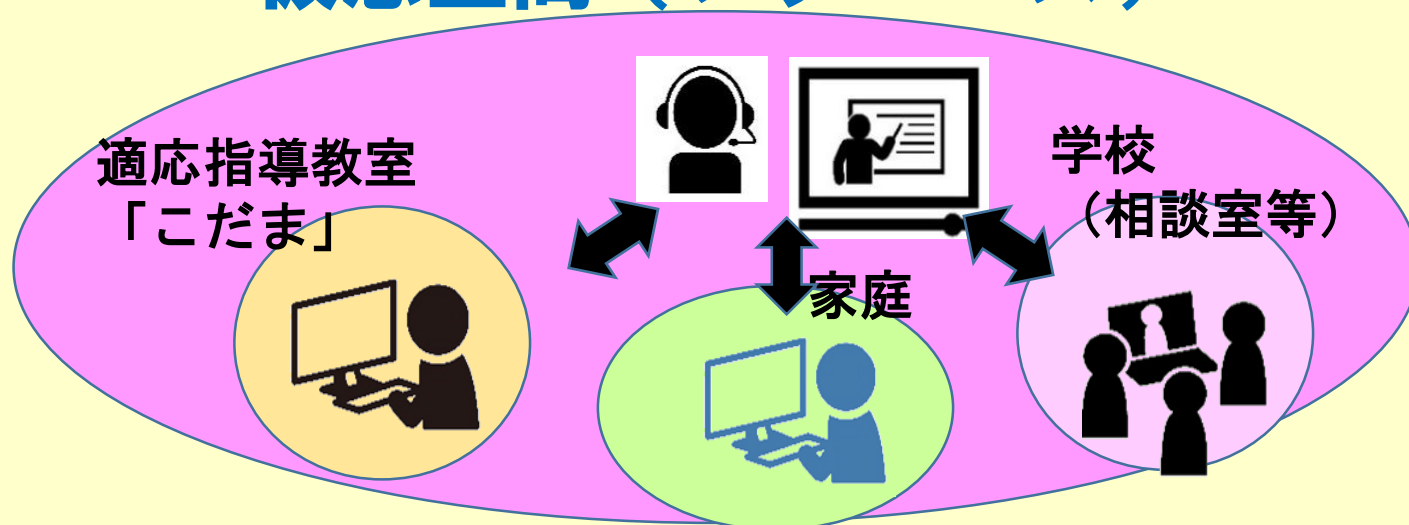
学校や適応指導教室等の学びの場に通えない児童生徒に対して、仮想空間（メタバース）上でつながりをもつことができる場を提供する。

※メタバースとは…

インターネット上に作られた仮想空間。

アバターと呼ばれる自分の分身を操作しながら、学習したり仲間と交流したりすることができる。

仮想空間（メタバース）



Room-HIKARI

Famcompus版

3 羽島市の取組み

取組みⅡ 新たな不登校を生み出さない

魅力ある学校づくり

居場所づくり…児童生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所をつくりだす

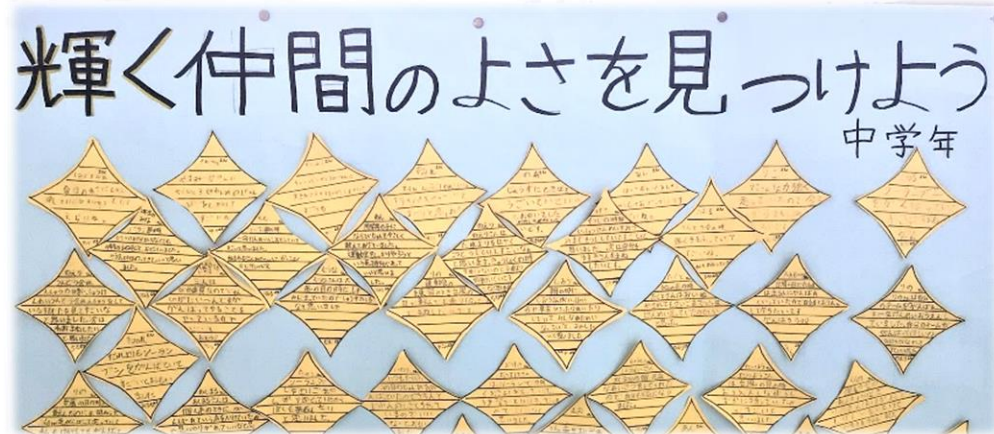
絆づくり …主体的に取り組む共同的な活動を通して、児童生徒自らが「絆」を感じ取り、紡いでいく

3 羽島市の取組み

取組みⅡ 新たな不登校を生み出さない

<具体的な活動例>

縦割り活動



仲間の
よさ見つけ



運動会や合唱祭などの
学校行事

3 羽島市の取組み

不登校児童生徒への支援について

中央中学校 教頭
黒木 美芳 様

4 他自治体の不登校児童生徒への取組みについて

<学びの多様化学校>

文科省が指定する特別の教育課程を編成して教育する学校

岐阜市立草潤中学校

学校法人 西濃学園中学校

<民間フリースクール>

不登校を中心に多様な学習活動等を行う民間施設

みんなの学び舎 ことのは(羽島市)

岐阜市7校 各務原市2校

<適応指導教室>

不登校児童生徒の社会的自立に向け、学校外の施設として、市町村が設置

市町村	設置数	市町村	設置数
岐阜市	4	瑞穂市	1
各務原市	3	北方町	1
山県市	2	大垣市	1
本巣市	2	海津市	2
羽島郡	2	関市	1

4 他自治体の不登校児童生徒への取組みについて

岡崎市 <校内フリースクールF組>

校内に、教室復帰ではなく社会的な自立を目標としたフリースクールを設置している。

R5…市内すべての中学校に設置（20校） 300人ほどの生徒が利用

広島県 <校内適応指導教室><オンライン支援>

・不登校スペシャルサポートルーム（SSR） 推進校として35校を指定
学習支援等による不登校の未然防止及び不登校等児童生徒の社会的自立に向けた支援を行う。

・SCHOOL“S” オンライン教育支援センター NPO法人カタリバと提携

5 今後の方向性について

新出不登校児童生徒の増加を抑えるために

魅力ある学校づくり

- ・コミュニティ・スクールとの連携
(情報交流と地域性を生かした学校運営)
- ・魅力ある授業づくり
(指導力の向上)

5 今後の方向性について

不登校児童生徒とのコミュニケーションづくり

だれかと どこかで つながりを
つながり0（ゼロ）を0（ゼロ）にする！

- ・Zoomによる授業公開や常時の連絡
- ・メタバースの活用
- ・支援員の指導力向上
- ・のぞみやフリースクールの活用

5 今後の方向性について

「一人一人にとって魅力ある学校づくり」の推進

自分たちの手で進める活動

お楽しみ会の企画・運営
生徒会と地域のコラボ企画 など

人との関わりを深める活動

「子ども⇔子ども」「子ども⇔教員」「子ども⇔地域」
多様な人との交流活動・感動体験

柔軟で多様な人間関係の構築

小学校における教科担任制の導入
目的や場面によって集団を変える

無理のない進級・進学

幼保と小学校の接続カリキュラムの見直し
小中の積極的な交流 小中合同「絆会議」